

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

8月号

No.4
平成17年
8月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



6月26日、町見郷土館でドキドキ土器づくりが開かれ、約80名の参加者が200点近くの土器を作りました！

今月の主な紙面

- 九町っ子体験スクール
- 生涯学習センター
8月1日オープン
- ボランティアバンクの
登録者募集
- 伊方町人材育成事業
参加者募集
- 学校通信
- 図書館だより
- 伊方スポセンだより
- 人権学習シリーズ
- 町見郷土館から
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

8月のテーマ

“体をきたえよう先祖をうやまおう”

(実践方法)

- 家族そろって野外活動を行い体をきたえよう
- 朝夕、先祖への拝礼を行い先祖について話し合おう

九町っ子体験スクール

◆5泊6日の通学合宿◆～九町小学校～



7月10日から15日の5泊6日で九町小学校の4年～6年生の児童16名による通学合宿を町見公民館で行いました。

この事業は異年齢の子どもたちが地域の身近な施設に宿泊しながら学校へ通い、炊事洗濯、清掃、買い物などの生活作業を直接体験することによって家庭の大切さを認識するとともに、他人を思いやる心や協調性、自主性、倫理観など豊かな人間性を育むことを願い町見公民館が実施したものです。



参加した子どもたちは、最初はぎこちなく戸惑う場面が多かったものの日が経つにつれ、自分たちで考え、工夫がみられるようになってきました。

「九町っ子体験スクール」の生活を通して、子どもたちは「やればできる」という自信を得、ひとまわりもふたまわりも大きく成長してほしいものです。



衣食住は、私たちが生きることに欠かせないものです。その中でも、飽食にどっぷり浸かっている子供たちにとって、この「九町っ子体験スクール」は大変意義深いものになりました。

「同じ釜の飯を食う間」と昔から伝わってきた言葉があります。気心が分かっていくとか仲がいいとか、いい意味で使うようです。食事づくり

「助け合うこと」

九町小学校長 三瀧俊二



の苦労を味わったこの5泊6日の体験を通して、親や周囲への感謝の気持ち、友と助け合ってこそ生きていくことができるという実感。

自分たちで乗り越えた力は本物です。このことは将来にもきっと生かされてきます。これからも、多くの試練に立ち向う体験を通すことで、大きな人間へと成長していきましよう。



3F 見遊館

遊戯室、子ども図書室、放課後児童クラブ室があります。仲間良く楽しく遊んでください。

● 3F 児遊館

※開館は10月1日の予定です。

● 2F 図書館

● 1F エントランスホール

【施設概要】

先月号の広報で紹介しました伊方町生涯学習センターが2階図書館を除き、8月1日にオープンいたします。みなさんの「学習の場・憩いの場・ふれあいの場」として、お気軽にご利用ください。
当日8月1日は、午前8時30分からオープンセレモニーを行います。引き続き、利用開始となります。生涯学習センター内の各施設概要及び開館時間等は、次のとおりです。

先月号の広報で紹介しました伊方町生涯学習センターが2階図書館を除き、8月1日にオープンいたします。みなさんの「学習の場・憩いの場・ふれあいの場」として、お気軽にご利用ください。
当日8月1日は、午前8時30分からオープンセレモニーを行います。引き続き、利用開始となります。生涯学習センター内の各施設概要及び開館時間等は、次のとおりです。

「学習・憩い・ふれあい」
生涯学習センター8月1日オープン
図書館は10月開館



4F 杜氏資料館

● 4F 杜氏資料館
伊方杜氏を紹介し、貴重な資料を展示しています。

● 5F 多目的ホール
別途、使用許可申請が必要です。

【開館時間】

● 午前9時30分～午後6時

【休館日】

● 月曜日(祝日の場合は翌日)

● 祝日

● 年末年始

【問い合わせ先】

生涯学習センター

三八一〇二〇



平成17年度 **伊方町人材育成事業** 参加者の募集について

伊方町教育委員会では、次により人材育成事業の参加者を募集しております。

《目的》

地域活性化の担い手となるため、意欲的に学習及び研修に参加する個人または団体に経費の全部または一部を助成することにより、有用な人材の育成を図ることを目的とする。

《応募資格》

この事業の目的を理解し、意欲的に参加を希望する者で、次に掲げる要件を備える者とする。

- ◆伊方町内に在住し、1年以上を経過した者、またはその家族が伊方町内に居住している者であること。
- ◆町税を完納していること。
- ◆現在及び将来、地域・職場及び団体等において活発な行動が期待できる者であること。

《募集人員》

- ◆地域リーダー育成事業
- ◆技術修得事業
- ◆その他特に人材育成に寄与すると認められる事業

予算の範囲内の人数

《募集期間》

- ◆9月末までにご応募ください。

※詳しくは生涯学習課(38-0211)までお問い合わせください。

あなたの力を必要としている人がいます。
少しでも活かしてみませんか？

ボランティアバンクの登録者募集！

私たちの町、伊方町では「共に生きる」幸せの輪を広げるため、「ゆめ・未来バンク」を設立しています。

ボランティアの活動の分野も従来の奉仕活動や慰問活動に限らず教育、文化、スポーツ、学校外活動などあらゆる分野に広がりをもっています。

あなたの豊かな知識や技術を活用するチャンスです。

お気軽にご応募下さい。

登録・活用の問い合わせは

伊方町教育委員会 生涯学習課へ

伊方町湊浦1993-1

TEL 38-0211(代)

FAX 38-1179

学校通信

瀬戸中学校

- 住 所 伊方町三机乙3305番地1
- 電話番号 52-0029
- 生徒数 70名 学級数 3 教職員数 12名
- 校 訓 自主 創造 調和



(学校PR)

本校は、平成6年に、三机中学校と四ツ浜中学校の2校が統合し、堀切大橋の下にあるつどいの里に瀬戸町立瀬戸中学校として創立された。初代石見利仁校長(故人)の後、井上静彦校長・笹井源弘校長・井上丈生校長に続き、平成15年から内藤信男校長が5代目校長として就任している。「主体的に活動し、心豊かでたくましい生徒を育成する。」という教育目標を掲げ、つどいの丘から新しい風を起こすべく伸び伸びと元気に教育活動に取り組んでいる。

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
校長	内藤 信男		教諭	松本 隆	
教頭	佐々木 光昭		〃	芝田 美智子	
教諭	阿達 憲興		〃	矢野 晴基	新居浜市立川東中より
〃	都築 正	八幡浜市立保内中より	養教	井上 知子	
〃	中村 明雄		専門員	濱本 敦子	
〃	上田 由記美		用務員	井上 生子	塩成小より

三崎中学校

- 住 所 伊方町三崎908
- 電話番号 54-0033
- 生徒数 63名 学級数 3 教職員数 11名
- 校 訓 正しく やさしく よく働く個性のはっきりした
教養ある国際的日本人になろう



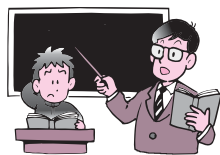
(学校PR)

串中学校と統合して2年目を迎えました。
串中生の明るさとバイタリティがパワーとなり三崎中をより熱くしています。これからの新生三崎中を見ていて下さい。

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
校長	柴田 聖治		教諭	市尾 寿美	
教頭	今田 照代	串小より	〃	徳田 球貴	伊方中より
教諭	木戸 秀人		養教	梶原 ゆかり	
〃	山根 龍司		主事	古澤 恵	(産休・育休)
〃	阿部 由紀子	伊方中より	事務	浜中 由紀	(育児休業補助職員)
〃	速水 和寛		用務員	堀内 八重子	二名津中より

二名津中学校

- ・住所 伊方町二名津442番地
- ・電話番号 54-0612
- ・生徒数 23名 学級数 3 教職員数 11名
- ・校訓 正しく 強く 明るく



(学校PR)

本校は、昭和22年4月15日に「神松名村立神松名中学校」として設立されました。以来、58年の歴史を刻んできていますが、昭和38年には生徒数418名(9学級)の頃もあったようです。

現在はへき地1級の小規模校ですが、「小さな学校だからこそできる」を目標に掲げ、「やる気」・「根気」・「元気」を合言葉にして頑張っています。先の郡総体では卓球部男女が共に団体戦を制覇し、個人戦でも素晴らしい成績を収めて自信を深めました。

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
校長	井上 靖		教諭	和田 学	八幡浜市立真穴中より
教頭	井上 哲男		〃	鈴木 麻由	八幡浜市立保内中より
教諭	石川 重也		養教	山口 宜子	正野小より
〃	竹上 正也		非講師	橘井 百代	三崎中より
〃	井上 太		用務員	大成 由佳	三崎小より
〃	大石 友紀				



図書館だより

団体利用申込み受付中!!

対象……………5人以上の団体・グループ

貸出冊数・期間……………50冊以内・30日間

図書館では、会社や学校など団体やグループへの貸出しも行います。貸出しは個人の貸出しと同じで、団体利用カードが必要になります。

貸出しを希望される団体は、役場または各総合支所に配布している申込用紙に必要事項を書いて、図書館まで提出してください。FAXでの申込みも受け付けます。

その他わからないことがあれば、下記までご連絡ください。

伊方町立図書館 TEL 38-0607
FAX 38-0617



伊方スポーツセンターをようこそ



8月 開講スクール



第1木曜日は8月4日

バランスボール

- 時間 ①10:30~11:30
②13:30~14:30
③19:30~20:30
- 対象者 一般成人男女
- 定員 10名
- 受講料 500円/回

第1火曜日は8月2日

水中ウォーキング

- 時間 ①10:30~11:30
②13:30~14:30
③19:30~20:30
- 対象者 一般成人男女
- 定員 10名
- 受講料 500円/回

トレーニング教室の3期生を募集いたします。

- 期間 9月~10月 ※1期は2ヶ月です。
- 時間 ①18:30~20:00 ②20:00~21:30
(希望の時間帯にお越し下さい)
- 対象者 一般成人男女
- 会場 トレーニングルーム
- 定員 20名
- 受講料 3,200円/2ヶ月(8回分)
- 持ち物 運動のできる服装・屋内シューズ
- 申込方法 スポセン2階事務所に受け付けております。
なお、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。



- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
- 伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
- 伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
- ☎ 38-0776



来てみてね

三崎日本画グループ「秋桜の会」10周年記念グループ展開催のお知らせ

「秋桜の会」が発足して、10年になりました。毎月2回、小林征子先生に指導していただきながら、自分で育てた花や野菜、道ばたに咲いている草花を描いています。

教室のある日には、色紙やボードに思い思いの花を咲かせています。また、昼間の仕事の疲れも忘れるような楽しく、ためになる話にも花を咲かせながら、和気あいあいと活動しています。

今までは、年に1回の文化祭と、年3回の銀行への作品展示を行ってきました。今年は10年の節目を迎え、今までに描いた作品の中から数点を選び、下記の要領でグループ展を開きます。三崎へ来られましたら、ぜひ立ち寄ってみてください。

- 時期 平成17年8月2日(火)~8月19日(金)
午前8時30分~午後5時
- 場所 三崎総合支所 1階ロビー

中・四国ブロック インディアカ大会で見事準優勝

みさきインディアカ部

6月12日(日)、岡山県倉敷市水島緑地福田公園体育館において、第8回中・四国ブロックインディアカ大会が開催され、みさきインディアカチームが混合の部(一般)で、見事準優勝に輝きました。

インディアカは、年齢に係なく生涯スポーツとして楽しめるレクリエーションスポーツで、町内でも競技人口が少しずつ増えてきています。みさきインディアカ部では、部員を募集中。週2回午後7時30分から三崎小・中体育館で練習していますので、のぞいてみてはいかがでしょうか！



瀬戸スポーツ少年団 春季ミニバス大会を開催

6月18日(土)、三机地区体育館において「瀬戸スポーツ少年団春季(ミニバスケット)大会」が開催されました。

どのチームも、日頃から練習に練習を重ねているとあって、レベルの高い熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

優勝 三机スポーツ少年団
準優勝 塩成スポーツ少年団
敢闘賞 大久スポーツ少年団



優勝した三机スポーツ少年団



第52回 四国地区人権教育研究大会に参加して

伊方町立瀬戸中学校 上田 由記美

人権教育係長 小西紀代子

7月14日・15日の両日、松山で行われた、四国人権教育研究大会に参加させて頂きました。

私は県大会や全国大会などにも何度か参加してきました。人権教育の研究大会に参加すると、今までの自分の生き方を振り返ることがほとんどです。そして、明日からの希望も頂いて、熱い思いで帰路につきます。今回もそうでした。

「子どもが変容したか」。今まで自分が取り組み指導してきた学習で、子どもたちの人権意識が良い方向へと変わった手応えを感じたか。また、地域の人権文化が育ってきたのを実感できているか。振り返ってみると実際はそんなにあるわけではありません。学習内容や方法をもっともっと工夫しなくてはならないのです。

高知の小学校の先生から「はせがわくんきらいや」という絵本を使って子どもたちが障害を持つクラスメートへの接し方が変わった報告をして頂きました。我が子にも読ませたいと思います。

宇和島市内の小学校の先生から人権の歴史を社会科でポイントを抑えて授業を進める方法を学びました。中学校でもできます。

香川県の中学校の先生からは、瀬戸中学校で計画していた生徒集会の参考になる報告を聞きました。今後の取り組みへのステップアップになりました。

大会での報告は、どれも差別への解放を願って取り組んでいる実践に基づく力強い報告でした。みなさんから頂いた熱い思いを、今後は自分の人権尊重の生き方に結び付け、「子どもたちが変容した」という手応えのもてる実践を重ねていきたいと思ひます。

第53回四国地区人権教育研究大会が7月14日と15日の2日間「四国はひとつ」の合い言葉のもとに集い、盛大に開催されました。メイン会場の県民文化会館においては、基調提案として、「すべての人の人権確立に向け、差別の現実から深く学ぶ実践をとおして、人権文化の構築をめざす教育をどのように創造していくか」が研究主題として、あげられました。

分科会では、高校の音楽主任の先生が、同和教育に真剣に取り組み、一年後すばらしい成果が得られたとの実践発表がありました。人権・同和教育は社会や道徳の授業の時にやるものと思っている方が多くいますが、それは先入観や潜在意識からくるものだと思います。例えば、音楽の授業からでも、体育の授業からでも、やり方、考え方を少し変えてみることにより、人権・同和教育に生かせる授業になり、教師のちょっとした「やる気」が生徒達を変えていける。このことは、社会人権教育においても当てはまることだと思ひ、がんばらなければと心新たにしました。

また、「いつまで人権・同和教育を行うのか」の質問に対して、「もう十分ではないか」という意見と、やめた場合、せっかく登ってきた坂道を転がって落ちてしまうようで、止めてはいけないという答えが返ってきました。このことにより、これからの歩むべき方法の一つが、継続すること、自分は差別をしていないと思っている潜在観念に気づくこと等、いろいろなことを学んだ2日間でした。

最後に、日々新たなる願いを胸に人権教育に携わっていきたく思っております。皆様のご指導をよろしくお願ひ申し上げます。



◆今月のきょうどかん◆

2005年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■—おやすみ ■—企画展 ○—夜間開館
休館日は都合により、変更する場合があります。

7月23日(土)~
8月28日(日)

■町見郷土館 一階
企画展示室

■休館日：月曜日・
7月31日

航空写真や写真家新田好氏の写真などから、佐田岬半島の魅力を探ります。

新町発足記念企画展

開催中



町見郷土館から

夜間開館

「博物館の長い夜」

夜21:00まで開館！

普段お勤めの方、お盆で帰省された方も涼しくゆっくりご覧いただけます。

8月12・16・19日

この夏の郷土館

常設展部分に蚊帳・サネモリ人形・牛のウシカケなど、新着資料を展示します。8月1日～9月30日まで



◀ウシカケ



▲サネモリ人形

郷土館サポーター

佐田岬みつけ隊参加者募集！

郷土館の活動を通して、佐田岬半島の歴史や民俗と一緒に楽しく学ぶ仲間を募集しています。隊員対象の見学会・講演会もあり！また地域の調べものなどもいっしょに行ないます(初心者の方でもかんたんにできます)。さあみんなで半島の魅力を見つけに行きましょう！

- ◆ 毎年度区切りの会員制です。
- ◆ 申し込みされると、町見郷土館の入館が無料となる会員証をお送りします。
- ◆ メンバーには、見学会・講演会など催しもののご案内を毎月送付。(参加は自由)
- ◆ かんたんなテーマの調査を全員で行ないます。成果は冊子にまとめて配付します。
- ◆ ほか、どんな活動ができるか、メンバーで計画します。
- お申し込み：電話で住所・氏名・連絡先をお知らせください。
一次募集期限：8月5日(金)
- 募集対象：特になし(大人の方でも大歓迎、町外でも可。)費用無料。

みつけ隊イベント第1弾！夕暮れビーチコーミング

夕暮れ時の海岸、海から流れ着いた宝物を探してみましょう。

- 講師：水本孝志先生(佐田岬半島生物研究舎・愛媛県環境マイスター)
- と き：2005年8月28日(日)(雨天の場合9月4日に延期)16:00~19:00
- と ころ：伊方町豊之浦海岸

「町見郷土館 さしあげます 完全攻略ガイドブック」

今春、町内小中学校の先生を対象に1校1冊ずつ製作・配付した、郷土館の活動のすべてが分かる手作りガイドブック。好評につき、白黒コピーで限定30部増刷いたしました。希望される方は郷土館までお問い合わせください。



☆「佐田岬民俗ノート」はお休みしました。

TEL・FAX 39 - 0241(不在の場合38 - 2661生涯学習課) / 開館時間9:30~16:30 / 休館月ほか

報 文 芸

俳 句

町見野の花句会

ゲート場木陰に寄りて打順待
つ 山田正明
色恋も語りぐさなり濃紫陽花
松田紋司朗
法螺の音や霧のとりまく山開
上口久志
過疎でいい人の温もり五月晴
上田文男
湯疲れと云ふ法楽や合歓あか
浜田保仁
石路はぎし灰汁の手に縫ふ仕
山口朝子
紫陽花や下駄跡深き今朝の庭
古田かずゑ
夏帯をきりりと結ぶ浜女
古田しを
熟れし枇杷葉付きのまゝに頂
きぬ 広野ナツコ
明日の色秘めてあじさい今日
を咲く 岩見愛子
五月雨るる待ちこがれたる筈
なれど 菊池あつ子

麦こきの遠き記憶や薄暑光

大沢昭子

茄子漬の紫光る朝の卓

林そで子

五月闇ゆつくり廻る風車の灯

川縁秀子

歩を止めて見て見てと指す蟻
の道 山田美恵子

山幾重越えしや里の岩清水

川崎ヤス子

合歓の花心優しくなりにけり

岩井ふみえ

梅雨ごもり又読み返す友の文

得能カツミ

研修の旅の途にあり喜雨きた
る 得能悦子

西山美津子

子育ての頃の匂ひよ天瓜粉

城岡正治

蚊雷を身に孝養の志士ぞあり

城岡正治

素麺の喉元うまし薄暑かな

大星幸子

誰彼と喜雨の挨拶青蜜柑

佐々木忠雄

トンネルを抜けて眩しき山笑
ふ 佐々木サチ子

巢籠りの鳥飛び立ちて草刈機

浅井ミドリ

四季ずれて大地はまどう秋の
風 丸川一彦

芍薬に一匹の蟻動かざり

佐々木煦作

母の居ぬ部屋へ薫風入れにけ
り 佐々木礼子

旅心らつきようつけて立つ妻
に 中谷段々子

沖々に出て南風の旅に有り

中谷はる子

さぎなみ句会

ヒロシマを指呼のふるさと原
爆忌 中谷段々子

うに海士の息吐く岩場屏風立
ち 宮本マサ子

昼下り百合満開の風甘く

松本光女

虹の輪の中に町あり佐田岬

宮部タミエ

字にならぬ孫のたんざく星祭
り 阿部八重

大桶に祈る安全台風来

中村 豊

心臓の奥の奥なる秋の声

大谷 勉

迂回路に誘導員の汗光り

井上 靖

夕映えて帰路の児童の別れ行
く 竹上正也

岬端やふと見上げれば虹の架
橋 大成由佳

杏の実甘酸いまま懐しく

山内 徹

空梅雨の日差しを避ける日陰
かな 川口篤夫

葉桜に思い合わせる切なさよ

神原貞規

老い夫婦伸び過ぎひじきあわ
れ刈る 安房伸己

大潮の干潟に集う子等の夏

渡邊由紀

たたく梅雨これも大師の慈悲
なるか 加藤尚子

さくらんぼ風と葉の船身を任
す 葉月 渚

白百合も添えて献花や列車事
故 大川昇太

手を合わす老女もありて望の
月 大石隆雄

ひとすじの願ひのありて地頭
祭 山内須磨子

くじゅう菜の花に蝶舞う里帰
り 山内良子

「飲む」「飲めぬ」蛇口並べて梅
雨に入る 石田 満

朝つゆを集めし墨の五色かな

小西紀代子

我が年と変わらぬ鯉が空およ
ぐ 丸川一彦

畑仕事合歓の木蔭にふたりし
て 佐々木サチ子

雷二発期末テストに発破かけ

井上幸子

なにくそと

八十路がのぼるおんな坂

谷口ハナエ

義父逝きて秋芽の山もひとり
なる 中谷はる子

川 柳

伊方町川柳会

木下一昭
年金で世過ぎ口過ぎ楽天家
上田文男
合併の口約期待しています
菊池真志江
無器用で言葉足らずが悔やま
れる 篠川佳津子
あれこれと七種の薬飲み忘れ
池田君子
何気ない会話の中で知恵拾う
木戸恵津子
口げんか中々ならぬ標準語
松坂正子
あじさいの色それぞれに嘘が
ない 門田千枝
防犯道児等のあいさつとまど
うの 梶谷芳泉

